

第1回ちば生物多様性県民会議

2007.5.9. 18:30~20:50

於：千葉県教育会館新館 501 会議室

■ちば生物多様性県民会議

代表 手塚 幸夫氏（夷隅郡市自然を守る会）

あいさつ



●県におけるこれまでの検討状況をふまえ、 ちば県民が主体となって働ける組織を作ろうという “ちば生物多様性県民会議”の立ち上げの主旨説明

・・・今までの経過・・・

1 タウンミーティングの開催

- 1) 開催方式：県民・NPO が企画・運営する実行委員会方式
- 2) 開催期間：18年10月22日～12月23日
- 3) 開催回数：20回
- 4) 開催場所：千葉・東葛地域中心に、県内各地。
- 5) 参加人数：1282名
- 6) 総括大会：12月23日に中央博物館において タウンミーティングの報告、論点整理。
パネルディスカッション。知事出席。
- 7) 意見概要：里山保全、農林漁業への支援・活性化、農薬の空中散布による影響。
遺伝子組み換え生物、環境教育、行政の取り組みなど。

2 「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」専門委員会による検討

- 1) 設置：平成18年10月16日委員会設置
- 2) 委員：動植物の生態、自然公園などに関する学識経験者8名
(会長：大澤雅彦 東京大学大学院教授)
※ タウンミーティングに関わった市民など4名がオブザーバー参加
※ 毎回、傍聴者からの意見も求めて検討が行われている。
- 3) 開催状況：これまでに7回開催。
今後、専門的検討を取りまとめ、県に提言を行う予定。
- 4) 検討内容：生物多様性に関する理念・現状認識・課題抽出、保全・復元の方針の検討、保全・復元の大枠・体制の検討など

3 生物多様性庁内連絡調整会議

- 1) 構成員：40課・研究所の室長など
- 2) 開催状況：これまでに4回開催
- 3) 検討内容：「生物多様性ちば県戦略」専門委員会における検討状況の説明・意見交換など

●県民会議取り組みのイメージ

- ①生物多様性という言葉・概念の重要性を伝える広告塔になろう
- ②グループ会議をとおして、専門委員会へふみこんでいき、意見を反映させていこう。
- ③実行していく主体になっていこう。
情報交換をして有機的につながれるようにしていこう。

■講演：堂本暁子知事

●1992年、地球サミットで採択された

- ・気候変動枠組条約
- ・生物多様性条約

のうち、気候変動枠組条約（地球温暖化）については数値目標があり、法律作りが義務付けられていて意識が高まっているが、生物多様性条約については、おけている。

千葉県は、**里海** 黒潮（暖流）と親潮（寒流）の出会い場所
里山

に恵まれた豊かな生物がいるまさしく生物多様性の県。それをこれからどうやって守っていこうかというのが、生物多様性ちば県戦略を策定する意義。そして、それを徹底した県民参加型でつくりあげたいというのが願いです。



■現場からの報告

- (1) 海からの報告(中村松洋氏)
- (2) 河川・干潟からの報告(御簾納照雄氏)
- (3) 農地からの報告(高橋修氏、仲野隆三氏)
- (4) 森林からの報告(金親博榮氏)
- (5) 都市緑地からの報告(齊藤久芳氏)

■ちば生物多様性県民会議のグループ会開催団体によるテーマ説明

グループ	テーマ	共同主催団体	代表者	場所	日時
里山と生物多様性	生物の多様性が支える里山の生業	里山シンポジウム 実行委員会 下泉・森のサミット	鈴木優子	県立中央博物館	7月1日
里海と漁業と生物多様性		夷隅郡市自然を守る会	伊藤幹雄・中村松洋	いすみ市	7月中旬

農林業と生物多様性	なりわいと共存する生物多様性	農業団体 他	金親博栄	千葉市	7月中旬
まちづくりと生物多様性	市民参加なまちづくりと生物多様性	NPO千葉まちづくりサポートセンター	福川裕一	千葉大学	7月中旬
教育と生物多様性	(仮)生物・生命・いのちの教育	未定	吉岡啓子	木更津市内	6月下旬
野生動物と生物多様性	野生動物と人間の共生	未定	中野真樹子	千葉市内 または南房総市	6月下旬
情報研究センターと生物多様性	生物多様性センターの役割としくみ		栗原裕治	県立中央博物館	6月下旬
北総地域の生物多様性	(仮)北総の里山と生物多様性	北総里山クラブ	(上西忠)	印西市	6月24日
遺伝子組み換え作物と生物多様性			小西由希子	千葉市内	6月上旬

.....略.....

■丹澤さんのスピーチ

北総地域はもともと新都市住民法というのがあり、昔ながらの里山が残っています。しかし、千葉ニュータウンは、今大変な開発が進んでいます。そんな中、私たちに何が出来るかということで去年タウンミーティングを開きました。都市住民を巻き込んで里山保全の出来る手法を考えようじゃないか・・・というテーマでした。



幸い東京に近く、成田空港にも近い、2010年には北総線の成田への延長も実現しそうだ・・・国際的にもアピールできる地域になれる・・・

『I have a dream. 私には夢があります。あそこに環境保全都市を作りたい。そして、その結果として都市近くに生物多様性が残るまちをつくりたい。』

これを15団体の人たちと一緒にやっていきたい、と思っています。

■会場から

● “山・川・海の生物多様性”をテーマにグループ会議を開きます 南房総市 水嶋吉昭

●生態系関係の人からだけではなく、色々な人の意見を集めて欲しい 白井市 相馬成光
一部の偏った考えの人たちだけでは、片手落ち。
堂本さんがいなくなったら継続しないような活動だったら困る。

●大衆文化マンガから生物多様性を訴える

習志野市 津山彰彦

10年間、サラリーマンをしていた。

日本全国のゴミ焼却場を見て回って、衝撃を受けて環境問題に取り組もうと思った。自分の好きな漫画は、広く大衆に訴えることが出来ると思い、日本で唯一の環境漫画家になった。

(朝日小学生新聞“里山どんぐり”の作者)

『今の日本のお金、利益優先の価値観から、環境保全の価値観へ』
それをめざしている。



●広く生物多様性を訴えるなら、色々なメディアを考えて

千葉市 北大卒業生

日本経済新聞の記事からこの生物多様性会議があることを知った。全然知らなかった。会議に出席してみて、関係者ではないので場違いな気もするほど驚いている。認知させるのなら、ブログなどの利用、またサイエンス・カフェなどの野外での活動など、一般の人を取り込む方法を考えたらどうか。

■県からのコメント

中央博物館副館長 中村俊彦氏

環境生活部長 市原氏

堂本知事

以上